



講座を5回以上受講することでガイドの卵として活動できます。

目指すは野々市マスター！ のいち里まちガイド養成講座

ボランティアガイドののいち里まち俱楽部は、野々市の魅力を市内外に伝えるボランティアガイドを養成する講座を全7回開催しています。12月17日(水)、3回目の講座がにぎわいの里ののいち カミーノで行われました。今回のテーマは「野々市の歴史探訪」。高尾城の戦い、虎猫御書、布市神社について里まち俱楽部に所属する3人が講師となって説明されました。受講者は、投影された資料のメモを取ったり講師に質問をしたり、熱心に野々市の歴史を学んでいました。

ためになる講座とおしゃべりタイム

講座& GO！郷カフェ

1月7日(水)、郷公民館で感染症対策や帯状疱疹ワクチンについての講座とGO！郷カフェが行われました。まずは郷・押野地区地域包括支援センターから冬に流行する感染症やその予防についての説明があった後、基本的な感染予防として重要な正しい手洗い方法を実際に手を動かして学びました。次に帯状疱疹ワクチンの種類や接種の必要性などの説明があり、参加者は積極的に質問をしていました。講座が終わると、コーヒーなどの飲み物を片手に参加者同士会話を楽しんでいました。



曲に合わせて楽しく手洗い。親指の付け根も丁寧に。



素早く、バランス良く、積み上げていきます。

どれだけ多く積めるかな？ おしのタイム「空き缶積み大会」

押野児童館で1月7日(水)、空き缶積み大会が行われました。おしのタイムは、小学生を対象に、学年の垣根を越えて交流する機会を設けるための遊び時間の愛称です。この日は1分間にどれだけ多く空き缶を積み上げられるかを競うゲームを実施し、参加した12人の児童は「缶くれ！」「俺のが一番高い！」などと熱戦を繰り広げました。大会後、多く積み上げた1～3位にそれぞれ金・銀・銅メダルが、また参加賞として全員におやつが渡され、児童はうれしそうに受け取っていました。



長尾さん(左)が真脇施設長(右)に答辞を述べました。

支えあいの中で迎えた新たな門出

多機能型支援施設ヒラソル 二十歳を祝う会

障害者福祉サービスを利用している人で、令和7年度中に20歳を迎える人を対象に、二十歳を祝う会が1月12日(月・祝)に開催されました。会場のにぎわいの里ののいち カミーノでは、対象者10人とその家族が二十歳を祝いました。式典では、二十歳を迎える人の紹介が行われた後、長尾紗弥さんと小林奏太さんが代表して「元気に成人式を迎えることができてうれしい。今後は思いやりの心を持って頑張っていきたい」と二十歳を迎えた抱負を語りました。

F まちの話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 (☎ 227-6056)

食べて、学んで、おしゃべりして。

カナダ料理交流会

12月13日(土)ににぎわいの里ののいち カミーノで、カナダ料理交流会が開催されました。カナダのケベック州出身のアンドリューさんとヴィルジニさん、国際交流員のソミさんと、食や文化について楽しく会話をしながらケベック州の伝統料理を作りました。

まずは、スパイスなどで煮込んだひき肉や野菜をパイ生地で包み、焼き上げた料理 トゥルティエールを作りました。パイ生地がうまくまとまらないというトラブルもありましたが、協力して作ったパイは「サクサクでおいしい！」「スパイスが効いてる」と満足な仕上がり。

次は、メープルシロップを煮詰めて雪の上で固めて作るお菓子 メープルタフィーです。メープルシロップを煮詰め始めると部屋の中がいい香りに包まれました。完成了タフィーは優しい甘さで、「おいしい！」「もう1個食べたい！」と子どもたちに大人気。みんなが列を作り、何度もおかわりをしていました。



①トゥルティエールを食べながらカナダの気候や暮らしについて話を聞きます。②参加者同士、英語でコミュニケーションを取りつづけ料理を楽しみます。③固まったメープルシロップを木の棒で巻き取ります。④甘くておいしいメープルタフィーを食べて思わずにんまり。⑤子どもたちも料理に挑戦！ こぼれないように慎重に…。



作品は「アートレンタルいしかわ」から提供されました。

アートがつなぐ、人と社会 障害のある人のアート作品展示

12月3日～9日は「障害者週間」とされており、障害者福祉について関心と理解を深めるとともに、障害者自身があらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的にしています。この一環として市では、11月20日(木)～12月18日(木)に市役所で「障害のある人のアート作品展示」を行いました。展示されたのは県内アーティストが描いた作品2点で、色鮮やかで個性的な作品が空間を彩りました。作品を見た人からは「緻密で繊細な絵の中に豊かさが感じられた」との声が聞かれました。



会場には昭和の暮らしを再現した撮影コーナーも設置されました。

過去から未来へ、野々市の歩み

昭和100年展～野々市の100年を振りかえる～

令和8年は、昭和元年から数えて満100年を迎える年です。これを記念して12月16日(火)～1月25日(日)に郷土資料館 NoNoで昭和100年展が開催されました。現在の野々市の形となった昭和30年代以降に焦点を当て、それぞれの年代の様子を伝える貴重な写真や資料が展示されました。来場者は「野々市の昔の様子や発展の歩みが分かり興味深かった。次の100年ではどう発展していくのか楽しみだ」と語りました。